

[013] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9885>

出版情報：中国文学論集. 13, 1984-12-31. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

今回もまた會員諸氏の多數の御投稿を得て、恙く第十三號上梓のはこびとなり、喜びに堪えない。

さて、本號は、卷頭を葉嘉瑩先生に飾って頂いた。今春、先生には、招かれて北京へ向われる途上、わざわざ九大にお立寄り頂き、その上、貴重な講演を拜聴する機会を忝くした。本論文はその時の講演の録音を文字に起し、先生の校閲を得たものである。先生の講演は博引旁證、しかも次々に引用される詩詞はすべて空んじておられ、加えて、熱っぽく發せられる先生の北京音は、その御容姿とも相俟っていかにも艶美であった。

また、今秋には、上海の復旦大學で、初めて日本の文心雕龍研究者九人を招き、中國國內の主だった中國文學者を一堂に會して「文心雕龍學會」が開催され、本會からは目加田誠名譽教授と岡村繁教授が参加された。本號所載の岡村先生の論文は、その時發表されたものである。歸國後先生は、澤山のみやげ話の中で、思い切った發表が却って中國の學者の理解を得たと、我々に嬉しそうに話された。

我々後進の主要な研究發表の場である「中國文藝座談會」も、近く百回を數えるまでになった。但だ返す返すも残念なことは、本會の大きな柱であられた濱一衛名譽教授を失ったことである。末筆乍ら改めて先生の御冥福をお祈り申上げる。

(西村秀人記)